



「京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業」活用企業紹介

令和2年度京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業を活用された株式会社大垣書店の採択テーマ担当者に、プロジェクトの概要や目的、ビジョンについてお話を伺いました。

株式会社大垣書店 
<https://www.books-ogaki.co.jp>

書店・カフェ・印刷工房・ギャラリーを備えた 「堀川新文化ビルディング」を起点にさらなる飛躍を目指す

複合施設「堀川新文化ビルディング」を開業



堀川新文化ビルディング
2階支配人 大垣 守可 氏

当社は1942(昭和17)年、地域の人々に書籍や雑誌を配達する小さな書店からスタートしました。現在では書店39店舗を展開しているほか、カフェ・レストランやギャラリーの運営も手掛けています。私が考える当社の強みは、各地域の方のニーズに合わせた店づくり。2020(令和2)年、新型コロナウイルス感染症対策下で売上が1.5~2倍にのぼった店舗もあったことは、そうした積み重ねの賜物だったと感じています。

書店業界が厳しい状況にある中、当社は以前より新業態の確立に取り組んできました。その一つが、京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業に採択していただいた「堀川アート&クラフトセンタープロジェクト」。書店にカフェ・印刷工房・ギャラリーを備えることで、今も伝統的なものづくりの文化と精神が息づくこの地域で育まれてきた「自分たちで文化を創り、発信していくことで、生活を豊かにする」という想いの発展を目的としています。2018(平成30)年に開設した準備室「Horikawa AC Lab」におけるコミュニティづくりを経て、2021(令和3)年11月、複合施設「堀川新文化ビルディング」を開業しました。

会社全体を底上げする事業へと成長させたい

地域の1軒1軒に挨拶まわりを行うなど地道な広報活動が実り、オープニングイベントは多くの方が足を運んでくださ

した。現在、書店は目標の約2倍の売上を実現。当社の新業態であるギャラリーも、散歩中の方やカフェで過ごされた方など、幅広い年齢層の方が気軽に立ち寄ってくださる場所となり、当初の見込みを大きく上回る来場者数を達成しています。また、「堀川新文化ビルディング」の最大の特徴は、書籍の制作・発表・販売ができる仕組みが揃っている点にあります。創作活動をされているプロの方や一般の方、映像制作を手掛ける企業などからオーダーメイドの書籍づくり、作品の展示などの依頼が徐々に増えてきました。

新規事業ということもあり不安もありましたが、京都産業21の支援が後押しとなり、一歩を踏み出すことができました。大切なのは、「堀川新文化ビルディング」から何を生み出せるかということ。生み出したものが結果として、この施設に関係する方々の売上につながっていくと信じています。当社のさらなる成長を支える存在となることを目指し、今後も地域の方々とのつながりを大切にしていきたいです。



堀川新文化ビルディング2階の
ギャラリー・イベントスペース

Company Profile

- 代表取締役／大垣 守弘
- 所在地／本社：京都市北区小山西花池町1-1
堀川新文化ビルディング：京都市上京区白茱町287
- 電話／本社：075-468-1800 堀川新文化ビルディング：075-431-5551
- 創業／1942(昭和17)年7月
- 事業内容／雑誌・書籍・CD・DVD・文房具・雑貨等の販売、カフェ・ギャラリーの運営